



加西能・こども狂言中止と子育て環境について



橋本 真由美 議員
(清流会・かさいを育む会)

問 加西能中止の理由とこども狂言の今後について。

答 (市長) 加西能が加西市の新たな文化として根づいてこなかったこと、費用が東京に流れ、地元貢献がほとんどないという意見が多くあり、地域で地道に頑張っておられる伝統文化、祭りの継承に予算を充てるために中止を決断しました。また、加西能とこども狂言は一体的なものであると認識し、こども狂言塾も今年をもって中止します。しかし、来

年5月4日の発表の場がなくなること非常に危惧されていますので、別の発表の場を設けたいと考えています。

問 未来型児童館の予算執行中止について。

答 (市長) 計画作成業務の契約決定過程に不備があり、入札手続の内容と理由を再度精査します。また、未来型児童館の目的について、ほかの子育て施策を含め、もう一度整理する必要もあると考え、中止しました。

問 未来型児童館の方向性について。

答 (市長) 何をもって未来型と言うのか分かりませんが、子育て施策を総合的に検討していく中で、児童館のあるべき姿を方

向づけていかなければならないと思っています。まずは出発点の契約関係の精査から対応したいと考えます。

問 所信表明における親の子育て力の低下と言う発言には、どんな考えがあるのか。

答 (市長) こども園では、保育士さんの朝の2時間の仕事がおむつ替えであると聞きました。預ける側の保護者がきちんとおむつ替えしていくのが当たり前でしたが、預けないと損という認識になってきているのではと危惧しています。そのような点を総合しての表明です。

■その他の質問項目

・加西 STEAM について



産業振興について



高見 博道 議員
(令和新風加西)

問 私は産業振興はとても大事だと思っています。農業も含めて、当然、福祉や教育など様々な問題を解決していかなければならないわけですが、お金がかかります。そこを稼いでいくために産業振興に取り組み、加西市で働く場所、また、企業に頑張っていただいて税金をしっかりと納めていただく、そして加西市の財政を潤して、いろんな事業ができると思っています。

加西インター産業団地を中心とした産業振興について、高橋市長の考えをお聞かせ願いたい。

答 (市長) 副市長選任についての提案説明でも申し上げましたが、彼が加西インター産業団地整備を推進してくれたおかげで、今の加西市があると思っています。そういう点も踏まえ、どんどん進めていかなければならないと考えています。

ただ、今、どの企業も従業員不足に悩んでいます。いつまでも産業団地整備が続けられるのかという不安感もありますが、リスク回避を取った上で進めていますので、その点では安心しています。これまでのように、造成して進出企業を募集するようではリスクが大き過ぎます。今回の場合は進出企業が決まってからの造成で、非常によい方法だと思っています。

選挙中にも「従業員不足のために、投資したいが後を考えると困る。」という声を多く耳にしまし

た。今、産業界もデジタル化を進めなければならないという任務を負っていると思います。その点も産業界とよく協議して、投資について支援できるものは支援していきたいと考えます。

要望 従業員の確保もとても大事なことです。加西インター産業団地の3工区、5工区について、本当に進出企業が決定するのか不安もあります。手続の関係上、ほかの建物の建設は難しいと聞いていますが、学校や病院などが建設できないのか、要望とします。

■その他の質問事項

・選挙ポスター掲示板について
・圃場整備について